

神海丸通信

最後の操業
千秋楽

No.4

操業開始から約2週が経過した日本時間2月23日、いよいよ最後の操業日、「千秋楽」を迎えました。あっという間に終わってしまった操業でしたが、生徒達の感想文には、「充実感を感じた」「船員さんの仕事ぶりがかっこよく、自分もそうなりたと思った」「釣れて、うー！ってなった」「責任感が身についた」「自分から進んで動けるようになった」「この乗船で専攻科に行きたいと思った」「もっと操業がしたい」「終わって寂しい」など様々な感想がありました。船員さん達の実際に働く姿を見たことにより、勤労に対する気持ちに変化が多くあったようです。高校を卒業し、社会人として働く生徒達にとって神海丸乗船実習はとても良い経験になっています。



謎の生物!? ある日の揚げ縄中、そいつは突然やってきました。500円玉程度の大きさで透き通ったぶよぶよとした体に、目と口がハッキリ確認できます。魚?なのか尻尾もあります。何かの稚魚だと思えますが… 神海丸ではたまにこういった不思議な出会いがあります。



事故やケガもなく、無事に千秋楽を終えることができました。こういった「マグロ操業実習」が安全に行えるのは、船員さん達の優しく丁寧な事前指導や操業前のミーティング、的確な指示や声掛けによるものです。また、その姿を見て様々なことを学んでいます。生徒達にとってとても大切な実習の一つだと思います。そして、いよいよハワイ入港を目前にし、船内では大掃除や片付けがはじまっています。

